

教育講演 A

【血ガス・ハンター】

<企画責任者> 増井 伸高（札幌東徳洲会病院）

演 者 増井 伸高 （札幌東徳洲会病院）

<企画概要>

心電図ハンター・骨折ハンターは過去の総会では満席となりニーズが高かった。一方で血ガスについて現場目線の疑問に答える講義は少ない。そこで腎臓や呼吸器を専門医にしないプライマリ・ケア医が求められる血ガス診療について講義する。参加型セミナーで実際の血ガスを千本ノックの如く評価、参加者は受講後に以下の二つの能力を手に入れる。

ハンター能力1 Anion gapハンター 血ガスのAnion Gapは不正確であり、1時間後の生化学検査が出てからでないと計算できない。そこでAnion Gapを使わず血ガス情報だけで診断する方法を伝授する。生化学検査を待たず、今までにない速さで血ガス診断ができるようになる。

ハンター能力2 Actionハンター 従来の血ガス講義は解釈法が中心であった。しかし臨床医が知りたいのは具体的に何をするのか（又はしないのか）である。そこで本講では血ガス後の詳細なマネジメントを徹底解説。血ガス後に完璧なActionが取れるようになる。

参加後には血ガスをとっても酸っぱい思いや、苦い経験をしない、血ガスを迅速評価しすぐにマネジメントできるプライマリ・ケア医になれる。

教育講演 B

【《総合診療医×心療内科医》心身症診療のリアル】

＜企画責任者＞ 大武 陽一（今井病院）

司会・演者 大武 陽一（今井病院）

演者 森川 暢（市立奈良病院 総合診療科）

演者 山根 朗（関西医科大学心療内科学講座）

演者 山本 修平（関西医科大学心療内科学講座）

＜企画概要＞

プライマリ・ケア領域で『心身症』を診る機会は非常に多い。実は身体疾患に心理社会的背景があり、それが病態に大きく寄与しているにも関わらず、生物学的事象のみにしか対応しておらず、事態が好転しないことは少なくない。実際には、これらの背景となる心理社会的問題にも対処していかなければならない。総合診療における BPS モデル（生物・心理・社会モデル）の重要性は論をまたないが、同じく BPS モデルを共有する心療内科での研修の機会は驚くほど少なく、相互交流の場面も限られている。しかし実際には、プライマリ・ケアに関わる医療者が、少しの知識・技術を知ることによって日常診療に非常に幅が出ることはしばしば経験する。本教育講演では心療内科医の診療の特徴の一つである「病態仮説の形成」に焦点をあてて、総合診療医と心療内科医双方が参加する模擬カンファレンスを実演する。今後はオンラインでの定期的なカンファレンスを予定しており、検討頂く材料となれば幸いである。

教育講演 C

【老衰の診かた】

<企画責任者> 今永 光彦（奏診療所）

演 者 今永 光彦 （奏診療所）

<企画概要>

超高齢者に対する医療やケアを行っている、「老衰」について考える機会がある方も多いのではないのでしょうか。しかし、死因の第3位になっているにも関わらず、老衰についてディスカッションする機会は意外に少ないのではないかと思います。本企画では「老衰はどう診断するのか?」、「老衰を受け入れない家族に対してどうすればよい?」、「老衰の看取りではどんなケアをすればよい?」、「合併症はどこまで治療すべき?」など老衰に関する様々な疑問についてお答えする形で、関連する国内外の論文や演者が行ってきた研究をもとに講演します。

教育講演 D

【ケースから学ぶ慢性臓器障害・マルチモビディティ

～慢性臓器障害×マルモで慢性疾患を全方位的に捉えよう～】

<企画責任者> 矢吹 拓 (国立病院機構栃木医療センター)

座長・司会 矢吹 拓 (国立病院機構栃木医療センター)

演 者 佐藤 健太 (札幌医科大学 総合診療医学講座・附属病院)

演 者 大浦 誠 (南砺市民病院)

<企画概要>

プライマリ・ケアで遭遇頻度の高い慢性疾患としての慢性臓器障害や複数の疾患が重複した Multimorbidity の診療スタンダードを提示し、参加者の診療スキルの確認と底上げを目的とした。

1. 慢性臓器障害 ～総合医と専門医の協働で診る、臓器別疾患群～ 佐藤健太先生
2. マルチモビディティ (マルモ) のバランスの良いみかた 大浦誠先生

プライマリ・ケアの現場では、慢性疾患診療の占める割合は非常に大きく、医療費の1/3程度が慢性疾患診療に充てられるとも言われている。特に慢性心不全・慢性閉塞性肺疾患・慢性腎臓病・肝硬変などの慢性臓器障害は日常的に数遇する頻度が高く、プライマリ・ケア医としても診療の質を高く保ち、知識をアップデートしておくことが求められている。また、複数の疾患が重複・併存している多疾患併存 (Multimorbidity) では、薬物療法などの治療負担や専門職によるケアの分断、診療の複雑さなどがあり、診療の基本を学ぶ機会はそれほど多くない。本企画では、慢性臓器障害・Multimorbidity それぞれの分野でトップランナーとして活躍されている佐藤健太先生、大浦誠先生に登壇して頂き、概念の総論的な解説から基本的な診療の枠組みや考え方をお示し頂き、専攻医や若手専門職などの初学者からベテランまで幅広い層に向けて基本的な考え方をご講演頂く。プライマリ・ケア医が日常的に対応している慢性疾患診療において、慢性臓器障害を縦糸、Multimorbidity を横糸と考え、全方位的に慢性疾患ケアを考える機会としたい。